



12/19(金)

市議会の議決を受けて修正

行財政改革の進捗状況について

令和7年(2025年)12月18日
宝塚市長 森 臨太郎



1. 「今年中に方向性を出す」とした事業について

1(1) 現時点で決定していないもの（引き続き、検討と調整を継続）

① コミュニティー・FM放送事業の見直し

- ・令和10年度から放送業務委託料半減(2,791万円)することを決定し、エフエム宝塚に提示済
- ・令和8年度および令和9年度の予算案からは、前年度比で850万円減額する編成とする予定
- ・地域とのつながりや情報発信のノウハウを継承しつつ、経費削減するため、インターネット放送への転換やスタジオ移転を提案
- ・会社経営に大きく関わる事項であり、市以外の取締役や株主との丁寧な調整が必要

② 広報板管理業務の見直し

- ・ポスター掲示、ちらし配架できる場所を整理(リスト化予定)し、一部の広報板を市の管理で残すかを12月までに決定、1月に関連団体へ方針を説明する予定
- ・広報板管理を希望する自治会・まち協へ無償譲渡し、その他の広報板は令和8年度から順次撤去予定
- ・無償譲渡にかかる修繕費用、撤去費用が別途必要
- ・広報たからづかに掲載しきれない情報はホームページに掲載し、情報格差解消のためのスマホ講座を実施

1(2) 決定したもの

① 受益者負担適正化ガイドラインに基づく使用料・手数料・駐車場料金の改定

- ・ガイドラインに基づき、使用料、手数料、駐車場料金(1時間無料対象時間を含む)を改定することに決定
- ・手数料・使用料について、料金を改定するまでの期間で周知予定
- ・使用料については、各指定管理者をはじめ、利用者、利用団体等への説明
- ・今後、使用料・手数料について、ガイドラインに則り、原則、4年ごとに原価計算

② 障害者(児)医療費助成のあり方の検討

- ・「身体障害4級への医療費助成」を廃止することを決定
- ・廃止について、広報たからづか2月号や来年1月下旬頃、個別通知による周知を予定
- ・個別通知には、コールセンター設置などの問い合わせ対応も含め、わかりやすく丁寧に伝える

1(2) 決定したもの

③ 高齢者バス・タクシー運賃助成及び障碍(がい)高齢者タクシー運賃助成のあり方の検討

- ・「高齢者バス・タクシー運賃助成」を廃止することを行財政経営戦略本部会議で決定
- ・「障碍(がい)高齢者タクシー運賃助成」は現行どおり継続
- ・廃止について、広報たからづか2月号や来年1月下旬頃、個別通知による周知を予定
- ・個別通知には、コールセンター設置などの問い合わせ対応も含め、わかりやすく丁寧に伝える

④ 障碍(がい)福祉基金のあり方検討

- ・以下について、行財政経営戦略本部会議で決定。令和8年度当初予算案に反映予定
- ・令和8年度以降は、2億7,700万円の積立および基金活用事業への取り崩しは凍結
- ・基金活用事業については、一般財源で実施
- ・令和8年度以降も障碍(がい)福祉基金活用検討会は継続し、施策化に向けた検討や新たな課題を整理

売布地域に新施設を建設
市民全体の福祉向上を目指す拠点づくりへ ※

※ 11/19に、宝塚福祉コミュニティプラザに福祉の拠点を整備することを公表。
障碍(がい)福祉基金を活用する施設についても、福祉の拠点づくりに包含して取り組む。

1(2) 決定したもの

- ⑤ 「ひろば」使用料の検討（規則改定の上、来年度からの運用に向けて調整中）
- ⑥ システム標準化にかかる国補助額（追加交付）（R7年度・R8年度歳入予定）
- ⑦ 学習支援事業の再構築（R8年度以降は別事業に統合）
- ⑧ 青少年育成市民会議の見直し（R7年度末で廃止）
- ⑨ フラワー都市交流連絡協議会のあり方の検討（R7年度末で脱退）
- ⑩ 学習理解度調査の見直し（R7年度末で廃止）
- ⑪ 公共施設における電力調達方法の見直し（リバースオークションの導入）
（R8年度分から調達方法を変更）
- ⑫ 市役所開庁時間の見直し（R8年1月5日～実施）
- ⑬ 蔵人共同浴場（ほっこり湯）の廃止（R8年度末で営業終了 - 要：解体撤去費用）

1(3)「今年中に方向性を出す」とした事業のスケジュール

時 期	内 容
12月(発行済)	広報たからづか 12月号 (特集:持続可能な行財政経営の取り組み)
11月～12月	12月議会
1月末	個別通知の実施(4ページ②、5ページ③の対応)
2月	広報たからづか 2月号 見直し内容を伝える記事を掲載
1月末～ 2月末(予定)	コールセンターの設置及び運用(主に、4ページ②、5ページ③の対応) 事業見直しについての問い合わせや相談に対応。市職員による体制整備
2月	令和8年度当初予算案編成

2. これからの政策に関する進捗状況

2. これからの政策について

医療と福祉

1. 市立病院を中心とした医療・福祉・介護・保健に係る「たからづかモデル」の構築
→ 庁内検討会を中心に、懇話会からご意見をいただきながら検討中
2. 売布地域に福祉の新施設を建設するとともに福祉の拠点づくり
→ 市民から寄附等を含め、協力をいただく覚書の締結(11/19)
3. 一人ひとりに合った多角的な就労支援のあり方検討(産業分野と連携)
→ 庁内にて業務を洗い出し、今後のあり方を検討中

子育て・教育

1. 国際バカロレア教育でつなぐ幼・小・中で一貫性のある探究型学習へ
～市内全域から通える特認校(西谷地区)での実現に向けて～
→ 西谷地区から教育環境の充実に係る要望(地域として「探究的な学び」に関心が高い)
国際バカロレア教育の導入に向けた調査研究チームを発足することを決定(11/27 記者発表)
2. 市内県立4高校との緊密な連携によるひとづくり・まちづくり
→ 宝塚北高等学校における「探究学習」の支援を実施(12/16)
自転車通学実現に向け、試行結果を踏まえた具体策について、高校と連携し、安全対策を検討
3. 放課後の児童の居場所について包括的な検討(地域児童育成会や放課後児童クラブ待機児童解消へ)
→ 放課後の新たな居場所、待機児童対策に関する取り組みについて、他市の情報等を参考にしながら、
関係各課と協議中

2. これからの政策について

安全・都市基盤

1. 西谷地域などで持続可能な公共交通の構築

→ 本格運行を見据えた新たな移動手段導入に係る実証実験をR8年度下半期に実施予定

実証実験に向けてR8年1月に公募型プロポーザル方式により募集し、R7年度内に事業者を決定する見込み

2. シェアサイクルなど市内全域における新たな移動手段の導入

→ 事業者により市内の駅(阪急)にシェアサイクルを設置済。事業者との連携へ向けて調整中

3. 中山台ニュータウンをモデルとした公民連携でのニュータウン再生

→ 事業者が中心となり、R8年3月に中山台エリアプラットフォームを設立予定

4. 困っている市民を適切な窓口等へナビする仕組みを創設(仮称:よろず案内)

→ サービスセンター・サービスステーション、人権文化センターでの実現に向け調整中

観光・産業・文化の振興

1. 手塚治虫氏生誕100年(R10年)に向けた賑わいづくり～唯一無二の手塚治虫記念館のあるまちづくり～

→ 賑わいづくりに向けた具体取組について庁内検討を開始、関係団体との意見交換

2. 花のみちから文化芸術センター(愛称:たからば)周辺をマンガ・アニメの聖地へ

→ 1.と連動し、聖地化に向けた具体取組について検討を開始、指定管理者との意見交換

3. 多様な主体との連携による新たな農の価値創出

→ 民間企業などと連携した、農をキーワードとした取組の可能性について検討を開始

3. R8年以降に検討することについて

3. 行財政改革の方針 – 引き続き行財政改革に取り組みます

収支均衡を図り、新たな政策の実現や本当に必要な市民サービスを持続するため

時代に即した政策への転換

(R7年と同じ)

基本方針

総人口は減少傾向…老人人口の増加+働く世代の大幅減少

時代に即した「持続可能」な政策への転換

財政は厳しい&見直しは必要だが…

財政の数値達成が目標ではない

→ 持続可能な政策への転換により財源不足解消も目指す

自立支援を促す「あたらしい福祉のあり方」への転換

社会情勢の変化に伴い

目的と実態が合わなくなつた事業の整理

受益者・非受益者に対する公平性の確保

具体的な取組は隨時、「宝塚市行財政経営行動計画」を更新しながら議論を進めます